

**児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)**

公表:令和5年3月30日

事業所名 レジリエンス・スポーツクラブ 職員数:6(パート含む) 回収数:6 割合:100%

		チェック項目	はい	いいえ	無回答	工夫している点、課題や改善すべき点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	0	0	・一対一で集中できるような環境づくりがされている。 ・子どもの興味が引き出せるような器具の配置がされている。	
	2	職員の配置数は適切である	4	2	0	サブが足りていない場面が多い感じがします。 ・児童、コーチ、サブ、保護者の距離感が程よく子どもにとってプレッシャーにもならない。	配置基準を満たした職員数ではありますが、急遽の休みが出た場合サブの対応が難しいことある為、職員の配置方法については不測の事態に対応できるよう配慮いたします。 職員の募集も引き続き行っております。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6	0	0	駐車場からレッスン室に行く道に手すりなどあるといいかも? 2Fの天井が低くて、球技→トランポリンでは高学年から頭が付くのでやりづらそう! 設備環境に関しては、車の通りが比較的多い国道沿いにあるため、騒音が少し気になる。	駐車場からレッスン室への通路については滑り止めの対応をいたしました。また、レッスン室の大きさについて設置基準は満たしておりますが、お子さんの体格等を勘案してレッスン内容を考慮します。さらに車の騒音については、お子さんに応じて窓を閉める等配慮します。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5	1	0	道具を入れる棚やエバーマットが少し汚れていることが気になることがある。 子どもたちの活動に合わせた空間になっていると思う。	レッスン室の棚や用具などは定期的に清掃を行っております。気になったその都度職員間で共有しながら清潔を保つよう心がけます。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	0	0	活動後の保護者との振り返りにより、子どものゴールが少しずつ明確化され、状況に応じて対応できるようになっている。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0	0		
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0	0		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	1	0		現在、既に第三者委員会を設置しております。ただし、外部評価についてはまだ受けていないため、今後は実現していきます。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	0	0		
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6	0	0	期限が追いついていない。やり方に見直しの余地があるかもしれない。	長期利用休止中や利用頻度が少ない方もいるので追いついていないこともあります。計画的にアセスメントできるようにしていきたいと考えています。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	0	0		

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年3月30日

事業所名 レジリエンス・スポーツクラブ 職員数:6(パート含む) 回収数:6 割合:100%

	チェック項目	はい	いいえ	無回答	工夫している点、課題や改善すべき点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設	6	0	0		
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6	0	0		
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	6	0	0		
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0	0	工夫している点はあるが範囲で種目を増やしたりして。新しいアイデアが欲しいです。	職員間で話し合い、適宜新しい種目の開発や用具の追加を行っています。活用のアイデアについても話し合う予定です。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	6	0	0		
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	1	0	できる時もあるが出来ない時もある	特に小集団レッスンを行う際には担当職員を中心に事前の打ち合わせを行っています。今後も職員間で声かけし、事前の打ち合わせを行います。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	1	0	できる時と出来ない時がある	レッスン終了後にはメイン・サブコーチで内容について振り返りを行っています。レッスンの終了時間によっては次のレッスンが始まる場合があるので、時間通りにレッスンを開始・終了できるよう心がけます。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	0	活動一つ一つ丁寧にこなしたことで、何が良かったか、どのような変化があったかなどを記録している。	
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6	0	0		
	関係機関や保護者との連携関係	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	0	0	
22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている		6	0	0		
23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		6	0	0		
24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		6	0	0		
25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		6	0	0		
26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		6	0	0		
27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		6	0	0		

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年3月30日

事業所名 レジリエンス・スポーツクラブ 職員数:6(パート含む) 回収数:6 割合:100%

	チェック項目	はい	いいえ	無回答	工夫している点、課題や改善すべき点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関 や 保 護 者 と の 連 携	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	4	2	0	地域のつながりの観点でやってみても楽しそうだなと感じた。運動会みたいな感じ?	サークルやスクール活動で障害のない子(兄弟、いとこ)を受け入れております。また、地域のスポーツクラブとのスポーツ交流ができるように企画調整していきたいと思います。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加している	4	2	0	積極的かは把握していません	児童発達支援管理責任者が定期的に行われる西原町の連絡会(自立支援協議会子ども部会の準備中)へ積極的に参加しています。内容について事業所内で共有したいと思います。
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0	0	レッスン終了後、前に、子どもの様子や以前の様子を共有し、どのような対応がふさわしいかを互いに理解し合う様子が見られる	
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	6	0	0		
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0	0		
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6	0	0		
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0	0	もっと話したい保護者さんがいると思うので夕方の時間や回数を増やせるといいかもしれない	
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6	0	0		
	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	0		
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0	0		
	38 個人情報の取扱いに十分注意している	6	0	0	写真の掲示方法も載せる載せないだけでなく、顔出しはいいのかな等にも留意しながら会報を作成している。	
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	0		
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	2	0	地域住民と関わる機会はあるまいにち感じる敬老会や親月会等を地域と連携しても良いのではないのかな?	現在地域住民と交流する機会はありませんが、今後地域のイベントや交流する機会等があれば地域連携を検討していきます。
	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5	1	0	避難経路の提示はされている。	避難経路については各レッスン室に掲示しており、避難訓練も定期的を実施しておりますが、勤務の都合で参加できない職員もいるため全員で共有できるようにします。

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年3月30日

事業所名 レジリエンス・スポーツクラブ 職員数:6(パート含む) 回収数:6 割合:100%

		チェック項目	はい	いいえ	無回答	工夫している点、課題や改善すべき点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	1	0		
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6	0	0		
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	0	0		
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	0	0		
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0	0		
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5	1	0		身体拘束については緊急やむを得ない場合を除いて行っておりません。契約時に同意書をいただき、今後必要な利用者さんがいた場合は個別支援計画にも記載することがあります。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。